

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公表番号】特表2010-528429(P2010-528429A)

【公表日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-509489(P2010-509489)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 9 8

F 2 1 S 2/00 4 9 1

F 2 1 S 2/00 4 9 3

F 2 1 S 2/00 4 9 5

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月18日(2011.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

空洞深さH及び面積A_{out}の出力領域を有する中空の光再利用空洞を形成する前側及び後側反射板と、

前記光再利用空洞内に光を放射するように前記バックライトの周囲に近接して配置される1つ以上の光源と、を含む、エッジ点灯式バックライトであって、

前記光源は、平均的平面光源分離度S.E.Pを有し、かつ合計すると活性発光面積A_{emit}を有し、

第1パラメータが、A_{emit}/A_{out}に等しく、

第2パラメータが、S.E.P/Hに等しく、

前記バックライトが、0.0001~0.1の範囲内にある前記第1パラメータ及び3~10の範囲内にある前記第2パラメータによって特徴付けられる、エッジ点灯式バックライト。

【請求項2】

空洞深さH及び面積A_{out}の出力領域を有する中空の光再利用空洞を形成する前側及び後側反射板と、

前記光再利用空洞内に光を放射するように前記光再利用空洞の周囲に近接して配置される1つ以上のN個の光源と、を含む、エッジ点灯式バックライトであって、

前記出力領域が、一般に矩形の形状であり、少なくとも762mm(30インチ)の対角寸法を有する、エッジ点灯式バックライト。

【請求項3】

出力領域を有する中空の光再利用空洞を形成する前側及び後側反射板と、

前記光再利用空洞内に光を放射するように配置されるN個の光源と、を含むバックライトであって、

前記N個の光源が、互いに隣接するM個の光源の部分集合体を含み、M個が、少なくと

も N 個の 10 %、又は少なくとも 2 つ、又はその両方であり、

前記バックライトは、前記 N 個の光源すべてを活性化させ及び前記 M 個の光源すべてに
関しては選択的にオフにさせたときの両条件下で、その出力領域において少なくとも 50
% の VESA の輝度均一値を呈する、バックライト。